

森林の整備・保全に対する国民の意識について

地球温暖化防止とライフサイクルに関する世論調査 (内閣府 平成13年7月)

- 1 調査目的
地球温暖化防止とサマータイム制度に対する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目
(1)地球温暖化防止について
(2)サマータイム制度
- 3 調査対象
(1)母集団 全国20歳以上の者
(2)標本数 5,000人
(3)抽出方法 層化2段階無作為抽出法

Q11 地球温暖化防止のために、国としてどのような取り組みをしていくことが望ましいと思いますか。この中からいくつかあげてください。

- 回答
- (35.7%) (ア) 省エネルギー機器や省エネ型建築物等の普及促進
 - (40.4%) (イ) 公共交通機関の整備推進や貨物輸送の合理化など交通・物流の効率化の推進
 - (41.7%) (ウ) 燃費効率のよい自動車やクリーンエネルギー自動車の普及啓発
 - (45.6%) (エ) 太陽光発電・風力発電・太陽熱利用のような新エネルギーの普及促進
 - (32.3%) (オ) 省エネルギー機器・クリーンエネルギー自動車や新エネルギー等について公的部門における率先的な導入
 - (60.4%) (カ) 森林保護や緑化対策の推進
 - (34.9%) (キ) 循環型社会の確立を目指し、リサイクル・リユースの普及促進
 - (32.4%) (ク) 地球温暖化の防止に関する学校や地域における環境教育の推進
 - (25.4%) (ケ) 省エネルギー・新エネルギー推進などの広報啓発活動の強化
 - (36.3%) (コ) 地球温暖化防止に関する研究及び技術開発の推進
 - (32.8%) (カ) 他国との技術協力や情報交換の推進

「環境問題」に関する全国世論調査 (読売新聞社 平成14年7月)

- 対象者
- ・ 全国の有権者
 - ・ 3,000人
 - ・ 250地点、層化2段階無作為抽出法

(質問) 地球環境を保護する対策として、あなたが、国に優先的に取り組んでほしいものがあれば、次の中から、いくつでもあげてください。

- 回答
- (30.5%) ・ 国民に省エネを一層呼びかける
 - (39.8%) ・ 環境に配慮した商品を普及させる
 - (43.7%) ・ 環境に悪影響を及ぼす産業への規制を強化する
 - (36.9%) ・ 環境保護のための技術開発を支援する
 - (26.8%) ・ 国民への環境教育を充実する
 - (28.4%) ・ 自然エネルギーによる発電を促進する
 - (48.5%) ・ 森林保護や緑化を促進する
 - (19.8%) ・ 国際的な協力や取り組みを強化する
 - (0.5%) ・ その他
 - (8.6%) ・ とくにない、答えない

岡山県の環境に関する意識調査（県民調査）
（平成13年8～9月）

- 1 調査の目的
広く環境について、県民の意識や行動の実態を把握し、環境基本計画の見直しや今後の環境に関する各種の施策に反映させる。
- 2 調査方法
(1)調査地域 岡山県全域
(2)調査対象 20歳以上の県内在住者 4,000人
(3)抽出方法 クォーターサンプリング法
- 3 調査項目
環境保全と経済や利便性との関係等

Q12 環境保全のために導入が検討されている県税についてお尋ねします。
「水源かん養税」は、森林保全費用にあてるため森林から水などの恩恵を受ける人に課税されるものです。この県税は必要だと思いますか。（は1つ）

- 回 答
- (13.3%) ・ 必 要
 - (42.8%) ・ 使 途 によ っ て は 必 要
 - (20.4%) ・ ど ち ら と も い え ない
 - (18.3%) ・ 必 要 で ない
 - (5.3%) ・ 無 回 答

Q12 この税金の使い道としてふさわしいのはどのようなことでしょうか。（はいくつでも）

- 回 答
- (86.0%) ・ 森林の健全育成（間伐、植樹、森林の公有化など）
 - (25.3%) ・ 林業の担い手の育成
 - (10.5%) ・ 森林公園やキャンプ場などの整備
 - (22.1%) ・ 環境NGOの活動支援
 - (25.0%) ・ 環境教育の推進
 - (1.5%) ・ その他
 - (1.2%) ・ 不 明

森林と生活に関する世論調査
(総理府 平成11年7月)

- 1 調査の目的
森林と生活に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目
 - ・森林への親しみ
 - ・森林の役割と森林づくり
 - ・木材の利用
 - ・地球環境問題と森林について
 - ・森林・林業行政に望むこと
- 3 調査対象
 - (1) 母集団 : 全国20歳以上の者
 - (2) 標本数 : 3,000人
 - (3) 抽出法 : 層化2段無作為抽出法

Q13 木材は建築用資材として各種の魅力をもっています。この中で知っていることをすべてお答えください。

- 回 答
- (43.4%) (ア) 木材は軽い割に高い強度がある
 - (48.9%) (イ) 木材は断熱性が高い
 - (72.4%) (ウ) 木材は湿度を調整する働きがある
 - (42.1%) (エ) 木材は衝撃を緩和する効果がある
 - (18.4%) (オ) 木材はダニ類の繁殖を抑制する
 - (41.9%) (カ) 木材はプラスチックやアルミ等と比べ製造過程での消費エネルギーが少なく、地球温暖化防止に貢献する
 - (0.2%) その他
 - (8.0%) わからない

河川・森林に関する世論調査
(東京都 平成14年12月)

- 1 調査目的
河川環境の悪化、森林の荒廃とこれらに対する都の取り組みについて都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。
- 2 調査項目
 - (1) 東京の河川
 - (2) 水害対策
 - (3) 都心部の川
 - (4) 東京の森林
 - (5) 森林の整備
 - (6) 地域材
 - (7) 森林整備についての東京都への要望
- 3 調査設計
 - (1) 調査対象 : 東京都全域に居住する満20歳以上の男女個人
 - (2) 標本数 : 3,000 標本
 - (3) 抽出方法 : 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

Q23 東京の森林のうち、多摩地域の森林の約60%はスギやヒノキの人工林です。これらの森林を健全に保つためには、間伐や下草刈り・枝打ちなどの適切な手入れが必要です。近年、林業の不振などで手入れが行き届かず、荒廃しつつある森林が増えています。あなたは東京の森林が荒廃しつつあることを知っていましたか。

- 回 答
- ・ 知っていた 41.6%
 - ・ 知らなかった 58.4%

5～6年以内に森林に行った回数との関係

	知っていた	知らなかった
0回(訪れていない)	31.6%	68.4%
1回だけ	43.7%	56.3%
2～5回くらい	49.0%	51.0%
それ以上	66.7%	33.3%
わからない	-	100.0%

Q 25 東京都では、多摩地域の私有林などの森林を再生するために、平成13年度は約7億円の税金を充てており、この金額は都民1人当たり1年間に約60円に相当します。荒廃しつつある東京の森林を再生し、整備をさらに充実させていくために、あなたは、都民1人当たり1年間にいくらまでなら税金を充ててもよいと思いますか。この中から1つお答えください。

回 答

- ・ 60円（現状程度）くらい 19.9%
- ・ ~100円くらいまで 37.3%
- ・ ~200円くらいまで 12.0%
- ・ ~300円くらいまで 8.0%
- ・ ~500円くらいまで 13.4%
- ・ それ以上 3.3%
- ・ その他 1.0%
- ・ わからない 5.2%

- 「~500円くらいまで」(13.4%) + 「それ以上」(3.3%)
= 「現状の5倍以上」(16.7%)の

5~6年以内に森林に行った回数との関係

- ・ 0回（訪れていない）13.1%
- ・ 1回だけ 16.5%
- ・ 2~5回くらい 19.2%
- ・ それ以上 27.8%
- ・ わからない -

森林の荒廃の認知別との関係

- ・ 知っていた 21.8%
- ・ 知らなかった 13.0%